

令和7年度 園関係者評価委員会の評価結果報告書

なるせ保育園

本園では、保育の質の向上と透明性の確保を目的として、今年度より園関係者評価委員会を設置しております。6月3日には第1回園関係者評価委員会を開催し、6月20日には保育参観を通して日頃の保育の様子をご覧いただくとともに、ご意見を頂戴いたしました。その後、自己評価・園評価を踏まえ、2月25日に園関係者評価委員の皆様より本園の教育・保育活動全般について評価していただきました。今後も地域の皆様に温かく見守っていただきながら、子どもたちの育ちを支えていきたいと思っています。

評価委員の皆様

谷藤 健太（保護者会長）
鈴木 駿介（なるテック教育事業責任者）
森岡 健（東成瀬駐在所長）
高橋 優子（女性消防団長）
菅原 早苗（子育て支援つくしんぼ代表）
菅原 操（子育てサポーター代表）
井上 英樹（東成瀬小学校長）
渡部 慶一（東成瀬中学校長）

評価委員の皆様からのご意見・ご感想その他

○保育園、児童館、小学校合同の避難訓練や引き渡し訓練など、とても大切である。ぜひ継続してほしい。また、園内での危険に対する危機管理は職員の方々にほんとうに頭が下がる思いである。安心して預けられる施設であることがアンケートから伝わってくる。
○保育園全体で現状をさらに良くしていこうという思いが伝わってきた。子どもたちのために、より良い園にしていこうという姿勢に感謝したい。できる限り協力していきたい。
○保護者の負担軽減が園の負担増になり過ぎないように連携された運営であることを願っている。さらなる充実を目指して取り組まれることとは思うが、多忙化解消ができるチャンスではないかとも思う。
○協働性と資質の向上についてとてもよく取り組まれていると感じた。課題の共有についてもできているのではないかとと思われる。十分でないと感じる職員が一部であれば、その方々から十分でないという根拠を明らかにして、個別に対応していいのではないかと思う。
○熊対策のマニュアルに沿って子どもたちの安全管理を徹底してほしい。こちらも協力していきたい。
○小学校との連携があることで、入学後の関わりがスムーズになる。「言葉で伝え合う力」はデジタル機器を扱う時間が増えている今だからこそ必要な力かと思う。
○常に意見交換があり、子どもたちの過ごしやすい環境を意識されていると感じた。遊びに関しては、外での活動が制限される中での取組に頭が下がる。
○限られた人員、限られた設備での保育なので、できること、できないことが様々あると思うが、方向性を同じにして取り組んでいこうとする様子が感じられた。

	項 目	重点目標	評 価 指 標	評価
今年度の重点的な取組についての評価	職員の協働性と資質の向上	○園内研修のテーマ「ONE TIME 広げようワクワクの輪～子どもを中心に語り、つながり合う保育～」を基に、職員の協働性と専門性を高める。	①職員同士が職種に関係なく、子どもをまんなかに話し合う機会を持ち、活発に意見交換をしているか。	A
			②ワクワクする遊びが展開されるような環境が設定されているか。	A
			③PDCA サイクルを実践し、改善することでレベルアップしているか。	A
	架け橋期教育の充実	○小学校や関係機関と連携を図りながら、架け橋期カリキュラムの編成・実践をするなかで、思いや考えを言葉で伝え合う表現力の育成に向けた活動を計画的に実践する。	①育みたい資質能力「言葉で伝え合う力」を、全職員が共通理解しているか。	A
			②「言葉で伝え合う力」を意識した指導計画を作成・実践・評価しているか。	A
			③授業参観や協議の場においても「言葉で伝え合う力」に焦点を当てながら、活発に意見交換をしているか。	A
	保護者・地域との連携強化	○保護者の状況をありのままに受容する基本的姿勢を園全体で共通認識し、保護者に寄り添ったよりよい子育て支援をする。 ○地域の人や環境を生かし、地域全体で子どもの育ちを支えられるような活動を実践する。	①保護者との日々の対話や連絡を大事にし、信頼関係を保ちながら必要に応じてすこやかトークルームを実施しているか。	A
			②保護者の負担の軽減につながるようなサポートを考え実行しているか。	A
			③地域の人材や環境を計画的に活用しているか。	A
④園への理解が深まるよう、地域交流活動を実施した際は、園ブログや広報等で広くPRしているか。			A	
	項 目	実施年度	評 価 指 標	評価
全方位的な評価	研修関係	今年度	①園目標達成に向け、課題と思われる点を抽出し、解決への具体的な手立てを設定し、計画的に園内研修を進められたか。	A
			②協働性を発揮できる役割分担をし、職員が主体性を発揮して研修に取り組む環境を整備したか。	A
	安全管理	毎年度	①安全計画に基づき、訓練や点検等の実施及び改善を図っているか。	A
			②ヒヤリハット事例の検討により園内の多様な危険を想定して、危機管理能力を向上させているか。	A
	組織運営	隔年度	①園運営のビジョンや重点目標が共有され、達成に向けた手立てを見出し、個々の職員が運営に十分参画したか。	A
			②園運営を円滑に進めるための職員会議や担当者の打ち合わせは、適切に行われたか。	A